

一心寺かわら版

第五十六号 令和四年九月発行

持名山一心寺 検索

宗教とカルト―安倍晋三元首相銃撃事件から

安倍晋三元首相銃撃から二ヶ月。凶弾に倒れた氏を偲び、お念仏申し上げます。

事件が発生した直後、選挙期間中ということもあつてか、政治家や報道機関から「政治的テロ」と捉えての言動が相次ぎました。「言論を銃撃、暴力で封殺する行いは断じて許すことはできない」などと犯人を激しく非難し、「民主主義が決してテロに屈してはならない」との発言に違和感を覚えました。

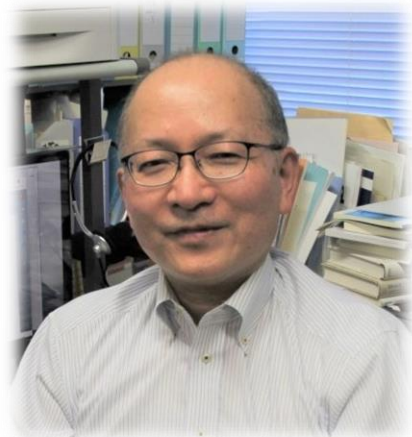
言論の自由や民主主義が脅かされたことではなく、尊い一人のいのちが暴力によつて奪われたことへの憤り、親しい人がいのちを落とした悲しみが出てくるのが最初ではないかと感じました。

逮捕された山上容疑者は、「母親が世界平和統一家庭連合(旧統一教会)に多額の献金をして家庭がめちゃくちゃになっ



た。恨みがあった旧統一教会と安倍元首相がつながっていると思ひ込んで犯行に及んだ。政治信条に対する恨みではない」などと供述しました。

この事件を発端として、旧統一教会に関する問題が日々メディアを賑わせています。テレビ番組に度々登場しているのが、北海道大学教授・櫻井義秀氏です。著名な仏教学者で、何冊も著作を読ませていただいています。



氏は、かつてのオウム真理教事件の時のように、「宗教は危ない」という風潮ができてあがりつつあることを懸念しています。そして、本来の宗教とカルト宗教の違いを説明されていました。「本来の宗教とは心を開放するもの、カルト宗教とは心を束縛するもの」。確かにその通りだと思います。

宗教は、○○しなければいけない、○○してはいけないと縛るものと思ひ込んでいないでしょうか。ともすれば、私たち自身がそれを求めており、それを守ることで安心する、守ることができないと不安になる、という心理に陥っているのではないかと思います。しかし、心の束縛は、これを持っていなければ祟りがある、これをしなければ家族共々地獄に落ちる、などというカルト・靈感商法にもつながりかねません。

浄土真宗は決まりごとが少ない宗旨であるといわれます。法事を勤める際にも普段と違う準備はほとんどありません。日時の吉兆を言うこともなければ、○○をしなければ悪いことが起きると言うこともありません。ただ、仏さまの声を聞き、その徳を讃え、感謝の気持ちでお念仏の

生活を勧めます。

宗教が危険なのではありません。宗教の名を騙って悪事をはたらく人間が危険なのです。旧統一教会については、詳しくは知りません。その教義は別として、実際に霊感商法などによって多くの方々に被害を与えていることが問題なのです。政治家と宗教団体の関わりが禁止されているのではなく、問題があると指摘されている団体と繋がっているから批判を受けているのです。

宗教とは、人生のよりどころになるもの、心を豊かにしてくれるものです。みなさまも束縛されることなく、良い意味でお付き合いいただければと思います。

★お寺の掲示板法話

「和食では「混ぜる」ことはなく「和える」
それぞれの違いを尊重して自然の調和を見るもの」



テレビの料理番組でおなじみの料理研究家・土井善晴さんのことばです。「料理に失敗はない。一汁一菜で良い」という考え方は、料理に悩む多くの方に安心を与えました。

土井さんはおっしゃいます。

「和食では混ぜるということがないんですよ。というのはひとつひとつの食材に敬意を払います。ですから「和える」。それぞれの存在

感を、美しいところを尊重させて、隣同士に、これも利他ですよね。複数の食材の利他がたがいはたらきあって、ひとつのおいしいものが生まれる」。

「日本の食文化を伝えるフランスの講演会で、和食文化の「和える」とフランス料理文化にある「混ぜる」を比較して解説しました。混ぜるというのは、複数の個体、液体をミックスして別の何かを作り出す技術、それは科学文化文明の始まりです。一方、和えるは「ハーモニー」と訳されました。それぞれの違いを尊重して、互いを補い、おいしさを作り、自然の調和をみるものです」。

ロシアのウクライナ侵攻、既に半年経ちましたが、まだまだ終わりが見えません。一刻も早く、平和が訪れることを願います。

土井先生のことばで言うならば、ロシア側は、強引にウクライナをロシアに混ぜようとしているということでしょう。百年ほど前まで存在した巨大なロシア帝国、当時そこに暮らす人々がどのような気持ちであったかは知ることができません。ただ、今、ウクライナ側はロシアに混ぜられることは絶対に受け入れられない、ですから戦い続けています。



日本仏教の祖とも言われる聖徳太子は「和を以て貴(たつと)し」と為し、「篤く三宝(さんぼう)を敬へ。三宝は仏法僧なり」と説かれました。「和」には「あえる」以外にも「やわらかく」、「なごむ」という意があります。

『阿弥陀経』に説かれるお浄土の世界は「青色青光黄色黄光赤色赤光白色白光」、すべての色が混ざることなく光り輝いています。赤色と青色が混ざってしまうと、紫色になります。それではその色本来の輝きは失せてしまいます。

「混ぜるのではなく和える」、大切なことを気づかせていただきました。

★お寺の掲示板法話

「百点は無理かもしれん、でもMAXは出せるやる」

ダウンタウン松本人志さんが以前ラジオ番組で発したことです。

これは、とてもやさしいことばと受け取れるかもしれませんが、「百点を取るのはい、取れなくてもしょうがない。だから、自分なりに全力を出して頑張れ」。しかし、実は厳しいことを突きつけているように思います。

みなさんは百点を取ったこととありますか。なかなか取れませんが、一度くらいは取ったことがあるという方も多い

のではないのでしょうか。それに対してMAX、最大限、自分の力を出し切ったと納得できたことはありませんか。毎日全力で生きていると感じていますか。ある意味、MAXを出すよりも百点を取る方が簡単かもしれません。

点数とは比較、評価です。それは、とても厳しいことですが、何点、人と比べて上か下か、という明確な答えが出ます。MAXを出せたかどうかという答えは自分自身の中にしかありません。

仏教は縁起の教え。すべてのものは単独では成り立つことはできない、すべてのものは関係性を持っていて、すべてのもののおかげで今、自分が成り立っている。ですから自分のことさえ思い通りにはなりません。努力すれば必ず百点が取れる、競争に勝てるというわけではありません。いただいた縁の中で自分の全力を尽くすことしかできません。それが難しい、でもそれしかできない。MAXを出せたと思えたなら、満足できるのではないのでしょうか。

浄土真宗の宗祖・親鸞聖人は「本願力に遇いぬれば空しく過ぐる人ぞなき」、人生を空しく過ごさないように阿弥陀さまの願いに出遇うことが大切であると説かれました。阿弥陀さまの願いの中にいる。はかりしれない光といのちに生かされている。それに気づくことによって、本当の意味でMAX、精一杯生き切ることができる。親鸞聖人は本願念仏に出遇うことによって、MAXを出せない空しい人生ではなく、満足した生涯を送ることができたのでしよう。

仏教は本当のことを教えてくれますが、時にそれはやさしくもあり、厳しくもあります。

春季永代経奉告

今回も住職一人でのお勤め、法話でしたが、想像以上に多くの方にお参りいただきました。お寺参りが少しでも心の安らぎに繋がればと思うことです。現在、納骨堂を改修しています。完成しましたら詳しくご報告いたします。

「カムカムエヴリバディ」音楽担当・金子隆博氏の人生から学ぶ



今年の四月まで、NHK連続テレビ小説で放送されていた「カムカムエヴリバディ」。その音楽を担当されていたのが、米米CLUBの金子隆博さん。テレビ番組に出演され、ドラマとご自身のことを語っていました。

四十二歳の時、突然サックスが吹けなくなりました。「楽器を口にくわえると、首が勝手に動いてしまうというか。吹くまでいかないというか。くわえられないんです。そうとしか説明のしようがないんです」と語ります。

何が起こっているのかわからない不安の日々が続きます。病院を巡り巡って、四年ほどかかって「ジストニア」という病名にたどり着きました。それで少しホッとしたそうです。病状が良くなるわけではありませんが、病名がわかった、今の自分の状況が分かったところで、何がしたいか、何ができるかを考え始めました。そこで、作曲、ピアノを始めたそうです。そして、このドラマの音楽につながります。

自分の現状がわからない不安。病名がわかってこそ治療ができる、何をなすべきか考えられる。これはお釈迦さまがされた「対機説法」、「応病与薬」と同じです。私たちもまず、今の状況を把握しなければなりません。それぞれの症状が分かってこそ的確な治療ができ、薬が処方できます。煩惱から生まれる苦しみにはお釈迦さまの薬があります。

瀬戸内国際芸術祭公式プログラム「よるしるべ」開催に向けて

この二年間、新型コロナウイルス感染拡大の影響でお寺の行事も中止・縮小を余儀なくされています。オミクロン株に変わって重症化率が減少したために行動制限はなくなりましたが、まだしばらくは感染対策を取りつつの行動になりそうです。

今年「瀬戸内国際芸術祭」の年。すでに春・夏会期が終了し、九月二十九日より、観音寺市も会場となる秋会期が始まります。伊吹島会場とともに、一心寺も会場となる観音寺の夜のまち歩き「よるしるべ」も公式プログラムになっています。

「よるしるべ」は十月二十八〜三十日・十一月三〜五日の六日間、十八〜二十一時。声明雅楽コンサート「よるしらべ」は十月三十日(日)十九時開始予定です。(※コロナ感染状況により中止になることがあります。ご確認ください。)

